

すまいるたうん



発行元
東京新聞
南千住専売店
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

大豆を育て、荒川味噌を作る。
下町荒川おひさま根っこ
ワークプロジェクト
つなぐ大豆（おひ根っこ）



「大豆作りから、味噌作りしませんか？」

下町荒川おひさま根っこワークの大豆プロジェクトは昨年（令和4年）6月に17か所に1.4kgの農薬・化学肥料を使用していない大豆を配布しました。商店、福祉施設、企業など20人以上が参加し、今年（令和5年）1月に2.7kgの大豆が回収されました。今年も小中学校の参加もあり、千人近くの方が参加されています。

「加治屋在来大豆と三河島枝豆をお渡しします。」



2種類の大豆の種を鉢やプランターで育てたり、または地域の畑「おひ根っこファーム」に苗を地植えすることもできます。加治屋在来大豆は3カ月後頃、三河島枝豆は植えた2カ月後頃に枝豆が楽しめます。育て方は専門家の方の指導があり、判らない事はオンラインでアドバイスが貰えます。収穫後、形の良いものは翌年植える種として残し、枝豆として食したり味噌作りの大豆として使用します。

「種を繋ぐ。人を繋ぐ。地域を繋ぐ。」
一粒の種から上手くできると50〜100サヤの枝豆が収穫できます。大豆は種蒔きから5〜10日で発芽します。一粒の大豆がサヤを作り、翌年に新しい息吹を持って発芽します。その枝葉が関わりのなかった行政や企業、商店に伸びて人や地域の中での輪の鎖となつていきます。

「大豆を育てるのは苦手だけど、大豆の仕分けに参加したい。」
「味噌作りに参加したい。」
「味噌の試食は参加したい。」
老若男女、障がいの有無関係なく誰でもいつでも興味のある分野に緩やかに無理なく参加できます。

「食の自産自消。めざせ！荒川区大豆自給率100%」
7月末まで種を植えることができます。大豆の種を希望の方は下記記事事務局にご連絡ください。



下町荒川おひさま根っこワーク

お問合せ
事務局 荒川区町屋4-16-7
iroToriDori 白井・奥村
☎050-3556-6333
フクシのなべさん渡邊 ☎090-6543-9070



〈年間スケジュール〉

（加治屋在来大豆の場合。大豆によって違いあり）

- ◆蒔き時 6月中旬～7月中旬
- ◆イベント 9月予定
- ◆枝豆 10月頃
- ◆大豆収穫 12月頃
- 味噌作り&食べる会 2月予定



SNSで大豆仲間とつながろう！

おすすめ



「下町荒川おひさま根っこワークプロジェクトグループ」
・メンバーが自由に投稿できる



「ohisama.nekkowork」
・イベント告知



「下町荒川おひさま根っこワークプロジェクト」
・イベント告知
・事務局と個別メールができる